

首都圏増田会だより

31

2016.6

11月20日(日)は首都圏増田会へ。

物産展 増田の朝市 母の顔

11月20日(日)
首都圏増田会
オーラムで会いましょう。

増田「蔵の日」(中七日町)

首都圏増田会 30周年を迎えて



首都圏増田会 副会長

羽生 昭吉

【吉野出身】

首都圏増田会も4代の会長のもと、無事30周年を迎えられたことは、石山元町長、小泉先生や多くの先輩達と故郷を懐かしむ増田会会員の皆様のおかげと心より感謝いたします。

昭和61年11月に「親睦と融和」「愛郷と連帯」を目的に設立されたと聞いています。

当時、私は転職したばかりで仕事に追われ、第1、2回の総会には参加できず、第3回より30回の総会まで欠かさず参加してきました。

振り返ると、たしか明治神宮外苑の日本青年会館でした。受付で小泉先生に会い、いきなり参加の感想文の依頼を受け当惑したことが思い出されます。会場には500人以上の参加者が集まり、現在の総会とは想像もつかない混雑が思い出されます。平成13年に役員を引き受け、年1回の総会の準備や首都圏増田会だより（会報）発行のため、年数回の役員会は15年間で一度も欠席したことが無いのがただ一つの自慢です。

総会に出席者が年々少なくなってきました。どのように会員を増やすかを役員会の度に議題に上がるも解決できず。30年も経つと会員も高齢となり、年々自然減少となっています。若い会員の参加を促すためには、若い役員を作り多くの若い会員を勧誘すべきではないでしょうか。

第30周年記念に横手市長と首都圏増田会会長より感謝状を賜り感謝していますが、私もそろそろ引退する時期に来たのかと思うこの頃です。

40周年、50周年と続けるために、役員の新陳代謝を考え、会員の中で60歳代で会社を定年になった方や役員を引き受ける若い会員を事務局までご紹介ください。

首都圏増田会総会30周年を終えて

平成27年11月15日、東上野（御徒町）オーラムで「首都圏増田会総会30周年」が盛大に行われ、大勢のご来賓の方々のあいさつをいただきました。

故郷の活性化に向けて頑張っている様子が私の胸に痛切に伝わってきました。

首都圏増田会総会30周年を迎えるにあたり、日本コロンビア専属プロ歌手である福本えみさんが、数々の民謡・演歌や歌謡曲を歌って会場を沸かせてくれました。福本えみさんは、昨年デビュー20周年を迎えました。首都圏増田会も30周年を迎えて、佐藤章会長の原稿（首都圏増田会だより30号）にもありましたとおり、非常に縁起のよい年であったと思います。

今後の増田会を盛り上げるためにも、増田地区の方言で語り合う場、そして集える場として、一人でも多くの方々が増田会に参加していただけますよう、ご協力をお願いいたします。

（高橋 幸三（滝ノ下出身） 記）

初めての増田会



山田 均さん
【昭和通出身】

初めて増田会に参加させていただきました。もう30回を数えるとのこと、当初の発起人の皆様と、これまで会を支えてこられた皆様のご苦勞に敬意を表します。

当日の参加された皆様、主催された方々、準備された皆様の熱意を肌で感じさせていただき感激いたしました。様々なアトラクション、心のこもった増田ならではの料理の種類、あらためて感激しました。当日のご来賓のあいさつにもありましたが、これからの増田を良くしていくためには、増田人による増田ブランド

の確立が本当に大切だと思います。

私も年に1回は増田に行っています。宿泊施設不足、飲食店不足、駐車場付きターミナル不足等、種々課題はあると思いますが、増田のスケールに見合った等身大のまちづくり整備をハード・ソフト両面で築き上げていただきたいと思っています。

育った街「増田」を末永く守り続けて行きましよう。

久しぶりの増田会



高山 克二さん
【関ノ口出身】

久しぶりに首都圏増田会に出席させていただきます。30周年記念と

のこと。30年前、団塊世代の私たちはバリバリひたすら仕事をやっていた頃で、増田会の存在を知ったのは、かなり後である。

初めての参加は6歳と9歳上の姉たちと連れ立って、彼女らは同級生たちがいっぱい、楽しそうに話をしていたが、私のほうはテーブルには知らない兄様姉様だけで、あまり話もなく、ただ芋の子汁となす漬を肴に名酒「まんさくの花」をこたま飲んで帰ってきた。数年経って参加した時も、同期や知り合いがおらず、それでもテーブルで一緒だった年配の男性と話しができた。その方は、「いつも私一人で参加し、知り合いもいないけど毎年来ています。か

けど増田町出身ではない

ので」と少し淋しそうな様子。当方は血糖値が気になる頃であつたが、お酒のお代わりをいただきながら、きれいな秋田弁で二人とも盛り上がった。よく知らないけど増田出身の人たちとはよくおしゃべりが出来た。楽しかった。（ただ、町で今年生まれた子どもが40人（佐々木市議）の話に唖然。）

来年もいろんな方と話しをしよう。勿論「まんさくの花」を片手に……

新役員になりました。よろしくおねがいします。



越後 英雄さん
【七日町出身】

この度、首都圏増田会の役員に仲間入りすることになりました。

私は、第29回の増田会総会で、ヨコテ・ヒーローズとして演奏させていただきました。ヨコテ・ヒーローズのメンバーは25名ほどで、毎月2〜3回練習を行っております。そして幅広い年代の仲間と一緒に演奏活動をしています。

私たちのバンドの演奏技術はまだまだ発展途上ですが、ヨコテ・ヒーローズは今後も頑張り続けますので、よろしく応援をお願いいたします。

そして、今後は首都圏増田会役員として、佐藤章会長を中心に増田会会員の力添えになればと思います。微力ではありますが、お手伝いさせていただきますのでよろしくお願いたします。

2/13
～14 元祖さるはんない幻灯



今年で12回目となる「元祖さるはんない幻灯」が2月13日と14日の2日間、狙半内地区の川口集落から滝ノ下集落までの沿道約10kmで行われました。

午後6時、住民総出で道路わきの雪壁にあけた穴に立てたろうそくに火を灯すと、やわらかい灯りがあたりを優しく照らし、一帯は幻想的な雰囲気に包まれました。

各集落では、豪華な雪像や川沿いの丘に光のアートを作って披露したほか、甘酒や豚汁などを振る舞ったりして、訪れた観光客に手作りの温かさを届けていました。

(ますだ地域通信 平成28年3月15日号より)

2/14 増田のまちあかり



中七日町通りで2月14日、手作りの灯ろうなどを灯し、ほのかな明かりを楽しむ「増田のまちあかり」が、開催されました。

この日は、南北約600mの区間の街灯が全て消され、ガラス瓶を使って住民が作った灯ろう一つひとつに明かりが灯されると、通り一帯が温かな雰囲気に包まれました。

(ますだ地域通信 平成28年3月15日号より)

10/24 矢口高雄氏全ての原画を市に寄贈
増田まんが美術館開館20周年式典



10月24日、横手市増田まんが美術館の開館20周年式典が同館で行われました。式典に先立ち、名誉館長の矢口高雄氏から、全作品の原画寄贈目録が市長へ手渡されました。市長は「先生の人生の結晶ともいえる貴重な作品を、市を信頼して託していただいた。この重責を深く受け止め、しっかりと後世へ伝えていきたい」と感謝の言葉を述べました。

開館20周年を契機に、今後もまんが美術館が市の貴重な観光資源として発展していくことが期待されます。

(市報 平成27年11月15日号より)

10/29 横手産トマトが
ハンバーガーに



10月29日、モスバーガー秋田横手インター店で、増田高校生8人が調理・販売を行いました。同校卒業生のトマト農家・片倉雅也さんの協力のもと、自分たちで収穫したトマトを使用。目標200食を完売した生徒たちは、農業の魅力を体感していました。

(市報 平成27年11月15日号より)

8/16 たらいこぎ日本一を競う



8月16日、恒例の『第29回全日本元祖たらいこぎ選手権大会』が真人公園で開催されました。大会には、団体・個人・子どもの各部門に142人が参加。選手たちは、42.195km先のゴールを目指し、バランスを取りながら懸命に水をかいていました。途中で転覆する選手も見られ、会場は温かい声援に包まれていました。

(市報 平成27年9月15日号より)

10/4 歴史と伝統でにぎわう町並み
第10回増田『蔵の日』



10月4日、増田地域の中七日町通り周辺で、歴史的建造物を一斉公開する『蔵の日』が開催され、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された増田の町並みを見ようと、県内外から多くの観光客が訪れました。

今回で10回目を迎えたこの日は、普段公開していない主屋や内蔵を含め26棟が公開され、観光客は増田中学校の生徒たちや地域ボランティアガイドの説明に興味深く聞いていました。また、福嶋サイサイ囃子やミニコンサートも行われ、町は一段とにぎわいを見せました。

(市報 平成27年11月1日号より)

9/14

増田の花火
(大正時代)



増田 伝統のお祭り 2015

2/22 三所神社梵天まつり
(約370年前～)



8/16 増田の盆踊り
(約640年前～)

ふるさとを応援し続け30年

首都圏増田会総会が11月15日（日）、東京都台東区の『オーラム』で会員や増田町関係者など約130人が参加して開催されました。

設立してから30回目の節目の年を迎えた今回は、長年にわたり会の運営にご尽力された6人の会員に、高橋大市長と佐藤章会長から感謝状と記念品が贈呈されました。

総会では、事業報告や事業計画、決算・予算が満場一致で承認されま

した。引き続き行われた交流会では、地元参加者手づくりによる『芋の子汁』や『菊の和え物』などが振る舞われたほか、民謡やカラオケで楽しんだ後、増田の特産品が当たる大抽選会なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

参加した会員は、お互いの近況を語り合ったり地元からの参加者に関するさとの様子を尋ねたりしながら交流を深めました。

首都圏増田会 第30回記念総会 スナップ



広告掲載

広告掲載

お願いー連絡ー

事務局より

市町村合併後、市当局からの支援金が大幅に削減されてしまいました。つきましては、増田会としてやむをえず次のようにしました。

過去5年間、会費が未納の会員

総会の案内及び増田会だよりの郵送を中止することにしました。ただし、総会への参加は構いませんので、一人でも多くの方々の参加を期待しています。

皆様のご理解の程をお願い申し上げます。

平成27年度首都圏増田会収支報告

平成27.11.15現在

首都圏増田会の平成27年度の収支決算がまとまりました。その内容は下記のとおりです。

【収入の部】		※「比較」欄は予算との比較	
項目	金額(円)	比較	備考
年会費	376,740	▲23,260	2,000円/年(手数料差引後)
総会会費	734,000	▲66,000	88人
補助金	270,000	0	横手市より
前年度繰越金	755,051	0	
預金利子	82	▲18	
諸収入	409,000	109,000	総会祝儀(320,000円) 広告収入・物産センターほか
合計	2,544,873	19,722	

【支出の部】		※「比較」欄は予算との比較	
項目	金額(円)	比較	備考
総会費	1,239,737	▲139,737	会場費、宴会費用他
会議費	196,231	3,769	役員会・3回
在京故郷会費	147,000	53,000	在京ふるさと会出席 横手市ふるさと会連絡協議会
慶弔費	29,376	624	叙勲の祝い・香典ほか
広告費	60,000	20,000	増田の花火協賛金 50,000円 東京平鹿町会 10,000円
通信費	80,652	19,348	増田会だより印刷代ほか
事業部活動費	10,000	60,000	役員研修会・探訪ツアー助成金 増田会だより(広報部) 10,000円
手数料	4,644	▲2,144	送金手数料
事務費	10,560	19,400	事務消耗品ほか 役員案内切手・はがき代
積立費	0	300,000	30周年記念準備金
予備費	9,000	326,664	
合計	1,787,200	660,964	

収支差引残金 757,673円は翌年度へ繰越

第31回首都圏増田会総会

- 期日 11月20日(日)午前11:30～
- 場所 オーラム(昨年と同じ場所です)
住所 東京都台東区東上野1-26-2
電話 03-5812-1123

会費 8,000円

※参加者全員が着席できるように準備しています。

募集しています

写真募集 首都圏増田会広報部より

広報部では、「増田会だより」の表紙に載せる、増田会にふさわしく、増田に関する郷土の風景、行事、心に残る写真をお持ちの方がおりましたら、是非写真の提供をお願いします。

■提出先：広報部長 森泉 曜子

広告協賛募集 首都圏増田会総務部より

総会資料に掲載する広告を募集しています。1口(名刺版)3,000円となります。希望される方は、伝票の通信欄にその旨を記入いただき、会費と一緒に納入してください。

会費の納入はお早めに

事務局より

当会の事業・運営は、会員の皆様の会費によって賄われていますが、最近会費の納入が遅れたり、未納となる会員の方が出ています。健全会計維持のためにも、納入はお早めをお願いします。なお、未納の方には次回より案内状・たより等の送付はしないこととします。また、転居された方をご存じの方は横手市まちづくり推進部増田地域課へお知らせください。

■連絡先：秋田県横手市増田町増田字土肥館
173番地／電話0182-45-5510

◆会費 年額2,000円

◆納入期限 平成28年10月10日

※振込伝票の通信欄は、会員紹介、増田会に対するご意見などを自由に記入してください。